
死体探しの夏

衣魚

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死体探しの夏

【NZコード】

N1012X

【作者名】

衣魚

【あらすじ】

大学の夏休み、僕は故郷へ帰省した。友人のNと、川の中に消えたあいつの死体の話。

山の裾野に沿って広がる段々畑のあぜ道を、僕は一人歩いていた。蒸し暑い大阪とはまるで違う、爽やかな夏。まだ少し、緑色の多く混ざった稻穂を、涼しいというより冷たい風が揺らし、葉のこすれあう音をさざ波のよつここの村へと伝わせていく。蝉の声は、どこか遠い。

風の方向には、小さな積乱雲が、真っ青な空に白く鮮明な塔をたてていた。遅かれ早かれ、あの雲は空を飲み込み、ここいら一帯をどうしゃ降りにする。僕は急いだ。川原で友人と待ち合わせしていたのだ。

川原へ下りる石段の入口に、友人 N は立っていた。川で遊ぶ小学生たちを、目で追っているようだった。

あいつらどうかいくん待つか？ と訊ねると、N はかぶりを振った。長くうねつた黒髪が気だるく揺れた。俺、年下の女の子好きだから。「年下過ぎるやろ」と僕は笑う。N は何も答えず、ただ唇だけを歪ませて、草の繁つた石段へ足を踏み出した。

乙と僕は中学生時代、卓球部のダブルスのペアだった。ただそれだけの関係で、特に N の家に遊びに行ったりしたことはない。高校も違う。友人かと訊ねられれば頷くし、ただの知り合いかと訊ねられても、僕も乙も、きっと頷くことだろう。

一緒に遊んだことは、一度だけあった。その一度だけが、僕と乙を繋ぐ絆であり それ以上の交友関係を絶つた、傷もある。

絶え間なく変わる水面の前に屈んで、乙と僕は手を合わせる。小学生の視線を身体中に感じながらも、ただ手を合わせることだけに集中する。

あの夏のお盆、僕らはここで遊び、一人の友人を亡くした。彼の死体はまだ、見つかっていない。

大学、楽しいか。目を開けると、乙が訊ねてきた。N は水面を見

つめたまま、口を半分開いていた。まあまあ、と答えると、Nは「そつか」とため息を吐くように言った。僕はNに訊ねる。Nは何じとるんやつけ。一ート。Nは即答する。蝉の声がじんわりと耳に溶け込んでから、「泳ぐか」とNは笑顔でこちらを振り向いた。

知らず知らずの内に、僕たちは彼の死体を捜していた。水面を蹴つて、三メートルほど水の層を一気に潜つて、飛び込み岩の隙間を息が切れるまで捜索する。川底の小石を手当たり次第に掘る。見つからないことは、分かっている。だから僕らはがむしゃらに捜す。互いに声一つかけない。川の水温は冷たく、流れに乗つて次々と、山の上からの冷たい水が身体に触れて過ぎ去つていく。身体はすぐに冷え、僕は水面から顔を出すたび寒さに肩を震わせた。

何十回目かの息継ぎで僕は氣づく。さつきまで周りにいた小学生たちがいなくなつてこる。空を見てみると、重苦しい鈍色の雲が、地上を圧迫するかのように立ち込めていた。瞼を大粒の雨が叩いたかと思つと雷が轟いた。

「と僕は川から上がるとき、川原に生えた大木の下で雨が止むのを待つた。

あいつの骨一本でも見つかつたら死のう思つてるんや、いつつも。Nは川を見つめながら言った。こんな毎日になつたんはあいつのせいや。死なれへんのも、あいつのせいや。あいつの呪いなんや、全部。

僕も同じことを考へていた。Nはきっと、大学楽しいかの問い合わせを、嘘つぱちだと見抜いているだろう。

じうなるんやれ、この先。僕らは枝の隙間から覗く空を見つめた。雲は依然として黒く渦巻き、雨の勢いは止まない。ええことあるんかな、このまま生きてて。Nが呟く。だけど僕らは死ねない。あいつの呪いで死ねない。生きなければならない。

僕は立ち上がり石段の方に目を向けた。行こう。僕は言つ。雷が鳴る。「濡れて帰ろ」

乙は、どうせすぶ濡れやしな、と立ち上がつた。ぬかるんだ沼の

ゆうだ道く、一歩踏み出つた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1012x/>

死体探しの夏

2011年10月9日15時54分発行